☆☆☆☆☆　比良松中学校区学社連携・融合事業　☆☆☆☆☆

『家読（うちどく）』してみました！



比良松中学校では、年に 2 回の新家庭教育宣言で「家読（うちどく）」の取組を行いました。

この取組は、ちょっとの間テレビを消して、携帯電話やゲーム機を置いて、「家族で読書をしてみましょうと」いう取組です。

家でずーっとテレビがついていたり、みんなが携帯を使っていたり、ゲームばっかりしている事はありませんか？ 家族で一緒にいるのにテレビを見ていたり、携帯でゲームをしていたりして、あまり会話をしないことはよくありますよね。

中学校で取り組んだ結果をお知らせしますので、参考にしていただき、「家読」を比良松中学校区で広げていけたら良いと思っています。

この機会に、読み聞かせを聞いたり

一緒に折り紙を作ったりしました。

小さいとき以来だったのでとてもなつかしく、楽しかったです。

（保護者の感想より）

家読（うちどく）とは

「家読（うちどく）」とは「家庭読書」「家族読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味します。この「家読（うちどく）」は、家族で本を読んでコミュニケーションし、「家族の絆づくり」することを目的とします。「家読（うちどく）」のやり方は、これといった決まりはありません。同じ時間、同じ空間を家族で共有すればいいのです。

たとえば、レシピ本を見ながら一緒に料理を作ったり、クイズの本でクイズを出し合ったり、折り紙の本で一緒に折り紙をしたり、同じ本を読んだり、家族で 30 分読書をしたり、いろんなことができそうです。

たまには、テレビを消して、携帯を置いて（ノーメディア）、本を手に取ってみませんか？

きっと楽しい時間になると思います。

本は買わなくても、図書館で借りることができます。

学校の図書館、市の図書館を有効活用しましょう。

お気に入りの一冊を買うことも楽しいかもしれませんね



【中学校で取り組んだ　保護者の感想】

○ながらテレビの時間を有効に使えるようになりました。家族との読書と云うことで新鮮な時間を過ごすことが出来ました。読書の習慣をみんなで続けていきたいです。
○家読は良いなーと思いました。日頃、携帯ばかりで本とは無関係になりがちで・・・これをきっかけにもっと読書の時間を作りたいと思いました。
○子どもに本を紹介してもらい読みました。本の話で盛り上がりました。
○冬休み明けに生活のリズムを取り戻す良い取組でした。食後の 30 分ぐらいの取組ですが、家読楽しみました。

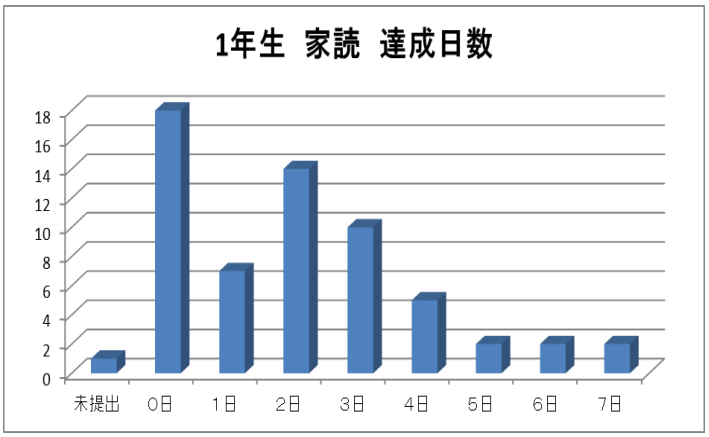
かじり丸

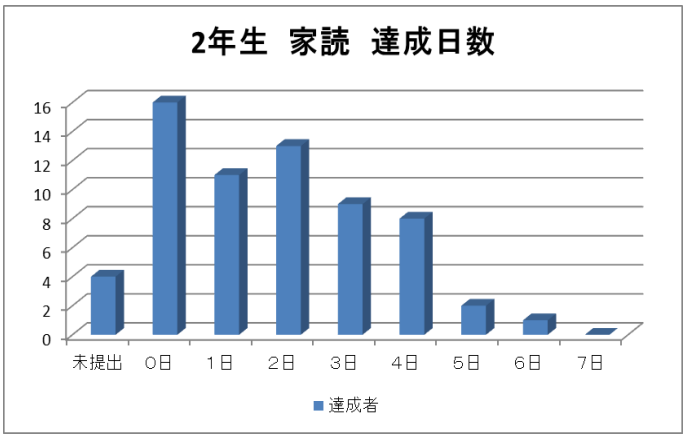


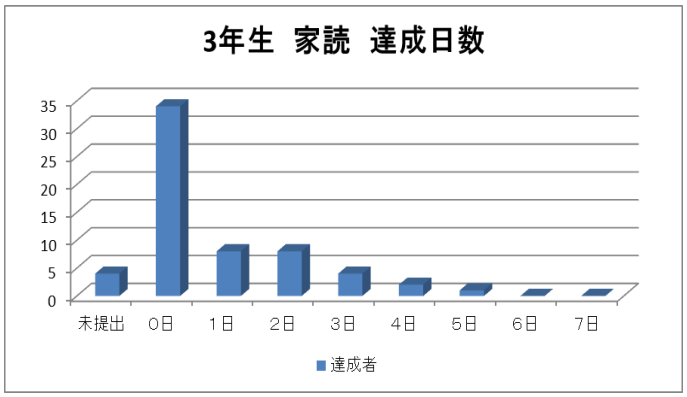
【中学校で取り組んだ　生徒の感想】

○普段は家族で本を読むことがないので、今回やってみて新鮮だったし、楽しかったです。
○ゲームよりもクイズの本などを一緒にした方が楽しかったです。
○ゲームをする時間が短かったので、いっぱい家族としゃべれた。
○以前より家読する時間が増えた。それに会話も増えた。
○家読は家族と楽しくできる良い項目なので暇なときはやっていきたいと思います。

【新家庭教育宣言（1 月 13 日～19 日）で 1 週間取り組んだ結果】







1 ・2 年生については半数以上の生徒が 2 日～4 日家読をすることができたようです。3 年生は受験前でなかなか読書はできなかったようです。

この取組は「毎日家読しなさい」という押しつけではなく、日々の生活の中に読書を取り入れ、少しでも本に触れる機会が増え、家族と話す機会が増えれば良いと思って提案をしています。

この取組で比良松校区の家庭に笑顔や会話が増えていきますように

比良松中学校区学社連携・融合事業　事務局　比良松中学校